

第74回全国植樹祭岡山県準備委員会（第1回）

日 時：令和元年9月5日（木）14:00～15:30

場 所：岡山県庁3階大会議室

次 第

1 あいさつ

2 議 事

- （1）第74回全国植樹祭岡山県準備委員会の設置について【資料1】
- （2）全国植樹祭の概要について【資料2】
- （3）開催までのスケジュールについて【資料3】
- （4）基本構想について【資料4－1～4】
- （5）準備委員会の進め方について【資料5】

<資料>

- 【資料1】 第74回全国植樹祭岡山県準備委員会設置要綱
- 【資料2】 全国植樹祭の概要について
- 【資料3】 第74回全国植樹祭岡山県開催までのスケジュール
- 【資料4－1】 第74回全国植樹祭基本構想について
- 【資料4－2－1】 先催県における「開催理念」の記載例
- 【資料4－2－2】 岡山県における「開催理念」のキーワード（案）
- 【資料4－3】 第74回全国植樹祭会場候補地検討会議の進め方（案）
- 【資料4－4】 第74回全国植樹祭式典会場候補地の選定基準（案）
- 【資料5】 第74回全国植樹祭岡山県準備委員会の進め方

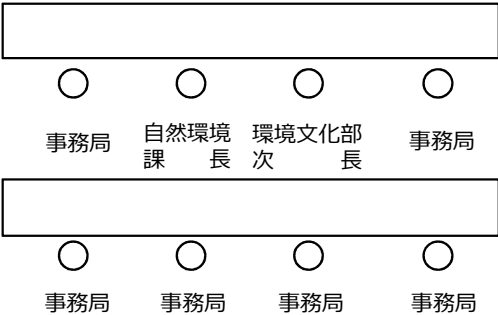
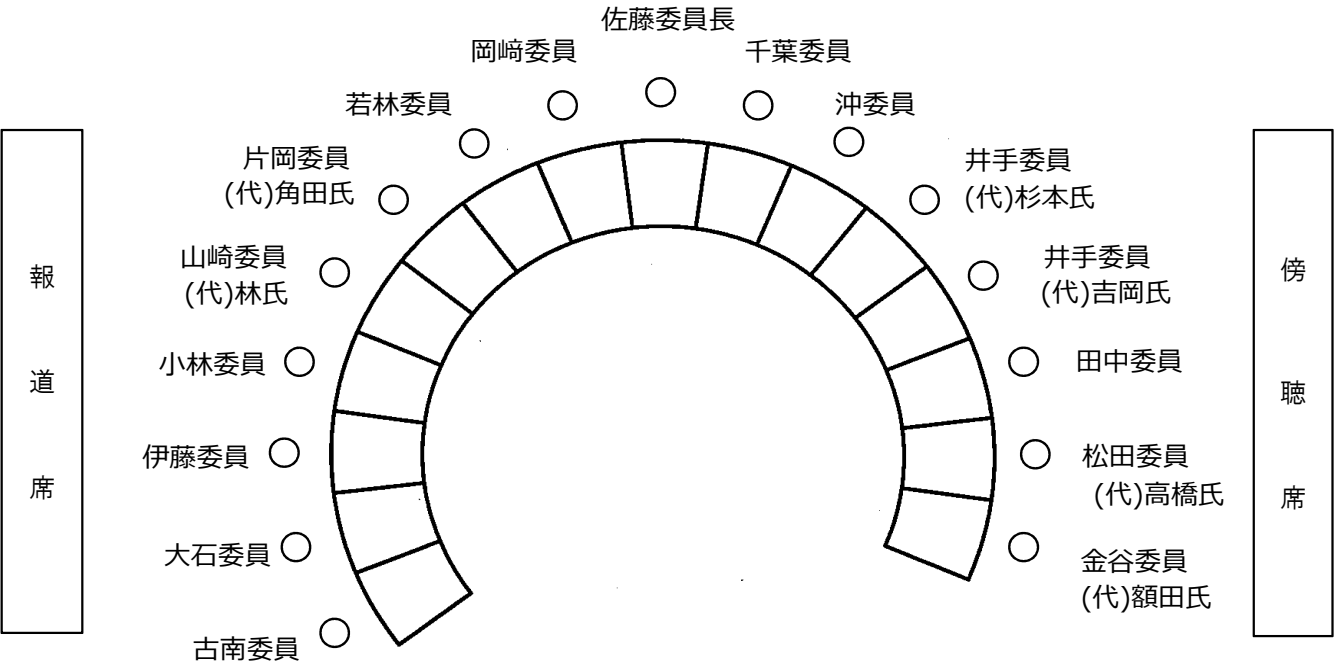
第74回全国植樹祭岡山県準備委員会（第1回） 出席者名簿

(敬称略)

区 分	所属・団体名	役 職	氏 名	代理出席
学識経験者 (2)	中国学園大学・中国短期大学	学 長	千葉 喬三	
	岡山県立大学	理事長兼学長	沖 陽子	
緑化・林業 関係団体 (4)	(公社)岡山県緑化推進協会	会 長	井手紘一郎	事務局長 杉本 孝一
	岡山県森林組合連合会	代表理事会長	井手紘一郎	代表理事専務 吉岡 哲哉
	(一社)岡山県木材組合連合会	会 長	田中 信行	
	岡山県山林種苗協同組合	理事長	難波 芳英	(欠席)
各種団体 (4)	岡山県商工会議所連合会	会 長	松田 久	岡山県商工会議所 連合会専務理事 高橋 邦彰
	岡山県商工会連合会	会 長	金谷 征正	事務局長 額田 修弘
	(公社)岡山県観光連盟	会 長	岡崎 彬	
	(公社)岡山県文化連盟	会 長	若林 昭吾	
市町村 (2)	岡山県市長会	会 長	片岡 聡一	参与(次長事務取扱) 角田 篤司
	岡山県町村会	会 長	山崎 親男	次長 林 秀和
県関係 (5)	岡山県	副知事	佐藤 兼郎	
	岡山県環境文化部	部 長	古南 篤子	
	岡山県産業労働部	部 長	小林 健二	
	岡山県農林水産部	部 長	伊藤 敦哉	
	岡山県警察本部警備部	部 長	大石 和雄	
合 計	17名			

第74回全国植樹祭岡山県準備委員会（第1回） 配席図

日 時：令和元年9月5日（木）14:00～15:30
場 所：県庁3階 大会議室



入口

第 7 4 回全国植樹祭岡山県準備委員会設置要綱

(目的)

第 1 条 第 7 4 回全国植樹祭の開催準備を円滑に推進するため、第 7 4 回全国植樹祭岡山県準備委員会（以下「準備委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 準備委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

(1) 基本構想の策定に関すること。

(2) その他前条の目的を達成するために必要な業務に関すること。

(組織)

第 3 条 準備委員会は、別表 1 に掲げる者をもって構成する。

2 準備委員会に委員長 1 名、副委員長 2 名を置く。

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員長は、岡山県副知事をもって充てる。

2 副委員長は、委員長が指名する。

3 委員長は、準備委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 5 条 委員長は、必要に応じて準備委員会を招集し、その会議の議長となる。

2 委員は、会議に出席できないときは、代理人を出席させることができる。

3 委員長は、協議事項に関して必要があると認めるときは、委員の追加をすることができる。

4 委員長は、協議事項に関して必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(会場候補地検討会議)

第 6 条 準備委員会の下に会場候補地検討会議（以下「検討会議」という。）を置く。

2 検討会議は、別表 2 に掲げる者をもって構成する。

3 検討会議に議長 1 名、副議長 1 名を置く。

4 検討会議は、会場候補地に関して、準備委員会に提案すべき事項に関する業務を行う。

(議長及び副議長)

第 7 条 検討会議の議長は、委員の互選により定める。

2 副議長は、議長が指名する。

3 検討会議は、議長が招集する。

4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるときはその職務を代理する。

(事務局)

第 8 条 準備委員会の事務を処理するために、岡山県環境文化部自然環境課に事務局を置く。

(承継)

第 9 条 準備委員会は、第 7 4 回全国植樹祭岡山県実行委員会（以下「実行委員会」という。）が設立されたときは、その業務を実行委員会に引き継ぎ解散する。

(その他)

第 10 条 この要綱に定めるもののほか、準備委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和元年 9 月 5 日から施行する。

別表 1（第 3 条関係）

第 7 4 回全国植樹祭岡山県準備委員会委員

区 分	所属・団体名	役 職	氏 名	備考
学識経験者 (2)	中国学園大学・中国短期大学	学 長	千葉 喬三	
	岡山県立大学	理事長兼学長	沖 陽子	
緑化・林業 関係団体 (4)	(公社)岡山県緑化推進協会	会 長	井手紘一郎	
	岡山県森林組合連合会	代表理事会長	井手紘一郎	
	(一社)岡山県木材組合連合会	会 長	田中 信行	
	岡山県山林種苗協同組合	理事長	難波 芳英	
各種団体 (4)	岡山県商工会議所連合会	会 長	松田 久	
	岡山県商工会連合会	会 長	金谷 征正	
	(公社)岡山県観光連盟	会 長	岡崎 彬	
	(公社)岡山県文化連盟	会 長	若林 昭吾	
市町村 (2)	岡山県市長会	会 長	片岡 聡一	
	岡山県町村会	会 長	山崎 親男	
県関係 (5)	岡山県	副知事	佐藤 兼郎	
	岡山県環境文化部	部 長	古南 篤子	
	岡山県産業労働部	部 長	小林 健二	
	岡山県農林水産部	部 長	伊藤 敦哉	
	岡山県警察本部警備部	部 長	大石 和雄	
合 計	17 名			

別表 2（第 6 条関係）

第 7 4 回全国植樹祭岡山県準備委員会会場候補地検討会議委員

区 分	所属・団体名	役 職	氏 名	備考
学識経験者	中国学園大学・中国短期大学	学 長	千葉 喬三	
緑化・林業 関係団体	(公社)岡山県緑化推進協会	会 長	井手紘一郎	
各種団体	岡山県商工会議所連合会	会 長	松田 久	
	(公社)岡山県観光連盟	会 長	岡崎 彬	
県関係	岡山県環境文化部	部 長	古南 篤子	
	岡山県警察本部警備部	部 長	大石 和雄	
合 計	6 名			

全国植樹祭の概要について



(第70回全国植樹祭あいち2019)

本日説明する内容

1 全国植樹祭とは

2 過去の岡山県での開催状況について

〔昭和42年 第18回全国植樹祭(岡山県:第1回開催)〕

3 近年の開催状況について

- ・先催県の開催状況
- ・第70回全国植樹祭あいち2019

1 全国植樹祭とは

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるために行う
国土緑化運動の中心的行事。
毎年春に、天皇后両陛下の御臨席のもと開催されている。

● 主催

公益社団法人 国土緑化推進機構および開催都道府県

● 開催時期

毎年春(5月～6月)の日曜日

● 開催概要

式典行事 : 両陛下によるお手植え・お手播き、天皇陛下のおことば、
緑化功労者等の表彰、大会宣言 等

植樹行事 : 記念植樹

関連行事 : 歓迎レセプション、プレイベント、全国林業後継者大会 等

2 過去の岡山県での開催状況について

- 大会名 第18回全国植樹祭(岡山県:第1回開催)
- 開催日 昭和42年(1967年) 4月9日(日)
- 開催場所 金山山頂(岡山市金山)
- 参加規模 13,000人(荒天のため200人に縮小実施)
- 大会テーマ 拡大造林と環境緑化
- その他 両陛下によるお手播きは、翌日、蒜山で実施



金山にてアカマツをお手植えされる
天皇陛下

3 近年の開催状況について

●先催県の開催状況および予定

回数	開催年	開催県	開催場所		開催規模
62	平成23	和歌山県	新庄総合公園	(田辺市)	3,692人
63	平成24	山口県	山口きらら博記念公園	(山口市)	12,600人
64	平成25	鳥取県	とっとり花回廊	(西伯郡南部町・伯耆町)	7,209人
65	平成26	新潟県	長岡産業交流会館	(長岡市) ※屋内会場	4,281人
66	平成27	石川県	木場潟公園	(小松市)	10,887人
67	平成28	長野県	長野市オリンピック記念アリーナ	(長野市) ※屋内会場	5,702人
68	平成29	富山県	魚津桃山運動公園	(魚津市)	7,410人
69	平成30	福島県	海岸防災林	(南相馬市)	8,144人
70	令和元	愛知県	愛知県森林公園	(尾張旭市・名古屋市守山区)	10,000人
71	令和2	島根県	三瓶山(さんべさん)北の原	(大田市)	6,000人
72	令和3	滋賀県	鹿深夢(かふか)の森	(甲賀市)	5,000人
73	令和4	岩手県	高田松原津波復興祈念公園	(陸前高田市)	6,000人
74	令和5 (予定)	岡山県	未定		(未定)

※70回大会以降の開催規模は計画段階のもの

3 近年の開催状況について



● 大会名

● 開催日

● 開催場所

● 参加規模

令和元年6月2日(日)

愛知県森林公園(尾張旭市・名古屋市守山区)

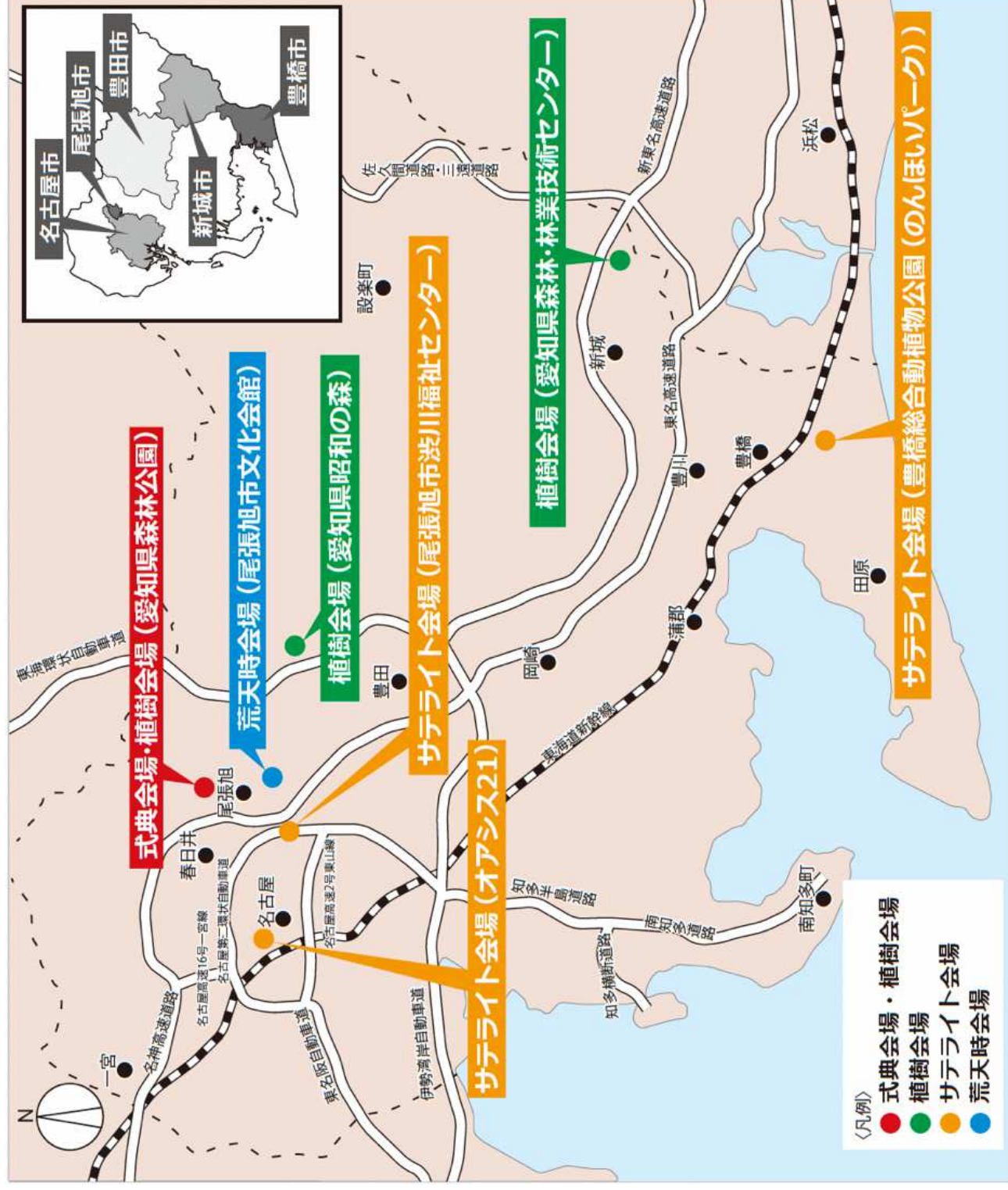
10, 000人

区分	参加者数	内訳
県外招待者	1,480人	国関係者、被表彰者、他県招待者 等
県内招待者	6,320人	県・市町村関係者、森林・林業・緑化関係団体、 県実行委員会、公募招待者 等
実施本部員	2,200人	県職員、市町村職員、ボランティア
合 計	10,000人	

※参加規模等は「実施計画」による

3 近年の開催状況について

● 開催会場



3 近年の開催状況について

● 開催会場

式典会場の愛知県森林公園をはじめ、県内5ヶ所にて招待者の記念植樹を実施。
また、県内3ヶ所に、サテライト会場を設置。

区分	会場名
式典会場	愛知県森林公園
植樹会場	休養の森
	南門
	記念の森
	四季の丘
サテライト会場	愛知県森林・林業技術センター
	オアシス21
	豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)
	尾張旭市渋川福祉センター

3 近年の開催状況について

● 式典行事概要

プロローグ

10:23～11:00 (37分)

アトラクション、感謝状及び記念切手の贈呈等。

アトラクション



記念式典

11:00～11:55 (55分)

天皇后両陛下によるお手植え・お手播き、天皇陛下のおことば、各種表彰、苗木の贈呈、アトラクション、大会宣言、リレーセレモニー等。

＜両陛下のお手植え・お手播き樹種＞

	お手植え樹種	お手播き樹種
天皇陛下	スギ(あいちニコ杉) クスノキ フモトミズナラ	ヒノキ アベマキ
皇后陛下	シデコブシ ヒトツバタゴ シキザクラ	ハナノキ マメナシ



天皇后両陛下によるお手植え

3 近年の開催状況について



＜各種表彰＞

・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール ・緑化功労者 ・全日本学校関係緑化コンクール ・愛知県緑化関係表彰	【表彰】 大会会長、農林水産大臣、文部科学大臣、愛知県知事、愛知県議会議長 【受賞】 受賞者代表
---	--



アトラクション

エピローグ 11:55～12:18 （23分）



アトラクション

3 近年の開催状況について



● おもてなし広場

- 式典会場と近接しておもてなし広場を設置。招待者が安心・安全・快適に過ごせるよう、総合案内所や湯茶接待コーナー、救護所、仮設トイレ等を整備。
- 愛知県の木づかいや森づくり活動の取り組みや花きをはじめとした農林水産物、観光、特産品等を招待者に広くPRするため、各種展示コーナーや観光案内所、物産販売ブース等を関係団体の協力により運営。
- おもてなしステージでは、愛知県にゆかりのある歌や踊り、郷土芸能等の演目を実施。



各種展示コーナー

3 近年の開催状況について

● おもてなし広場



おもてなしステージ



物産販売ブース



おもてなし広場の様子

3 近年の開催状況について



● サテライト会場

- 式典参加者のみならず、多くの県民の方々に第70回全国植樹祭を体感していただくため、名古屋市のおアシス21と豊橋市の豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)、尾張旭市の尾張旭市渋川福祉センターにサテライト会場を設置し、式典の放映や各種出展ブースを設置。

会場位置図



オアシス21(名古屋市)

3 近年の開催状況について

● 作品御覧

- 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第70回全国植樹祭ポスター原画作品を展示し、天皇后両陛下に御覧いただく。

【開催日】 令和元年6月1日(土)

【会場】 名古屋観光ホテル

【出席者】 優秀作品受賞者

● レセプション

- 天皇后両陛下の御臨席を賜り、招待者の来訪を歓迎。

【開催日】 令和元年6月1日(土)

【会場】 名古屋観光ホテル

【出席者】 約500名程度
(中央・県外・県内特別招待者)



作品御覧



レセプション

3 近年の開催状況について



● 苗木のスクールステイ

- 緑の大切さと緑づくりへの関心を高めるため、小中高生やみどりの少年団の協力により、全国植樹祭で使用する苗木を育成。



平成29年度実施状況

平成28年度実施状況

● 地域植樹イベント

- 県民参加による森林づくり活動を進めるため、県内各地域で、植樹イベントを実施。



阿久比町植樹祭

才兼池公園植樹祭

どんぐり交流会

3 近年の開催状況について



● 1年前プレイベント、カウントダウンイベント

- 大会の周知、開運機運の醸成を図るイベントを実施。



主催、来賓、出演者等による記念植樹



全国植樹祭に向けた
応援のぼり作り



農林水産関係
出展ブース



代表者記念植樹の苗木を
高校生にお渡し



カウントダウンボードの
お披露目



カウントダウンボード

第74回全国植樹祭岡山県開催までのスケジュール

年度 区分	平成30年度 (開催 5 年前)	令和元年度 (開催 4 年前)	令和2年度 (開催 3 年前)	令和3年度 (開催 2 年前)	令和4年度 (開催 1 年前)	令和5年度 開催年 (春季)
主要な 動き	◎招致表明	◎開催申出 ◎開催県内定 ◎「基本構想」策定	◎開催県決定 ◎開催会場決定	◎「基本計画」承認	◎開催日決定 ◎「実施計画」承認	
大会実施 組織体制		準備委員会 (9月設置)	実行委員会			
県決定 事項		基本構想 ◆開催理念 ◆開催規模 ◆開催会場候補地等	基本計画 ◆大会テーマ選定 ◆シンボルマーク選定 ◆大会ポスター原画選定 ◆式典等行事計画		実施計画 ◆式典等行事詳細計画 ◆大会運営詳細計画 ◆宿泊輸送詳細計画 ◆会場整備 ◆広報・啓発の実施等	
関連事業等					運営マニュアル	
					プレイベント開催	
				実行委員会		全国林業 後継者大会

全国植樹祭 開催

第 74 回全国植樹祭 基本構想について

1 基本構想とは

全国植樹祭の開催にあたり、開催理念や開催内容の方向性等の基本的な事項を定めたもの

2 基本構想の構成（先催県の事例による）

第 1 章 はじめに

- 1 策定の趣旨
- 2 全国植樹祭とは
- 3 岡山県での開催状況

第 2 章 開催方針

- 1 **開催理念** ※基本構想の中で具体的に記載
- 2 基本方針
- 3 大会テーマ
- 4 シンボルマーク・大会ポスター原画
- 5 **開催会場** ※基本構想の中で具体的に記載
- 6 **開催規模** ※基本構想の中で具体的に記載
- 7 開催時期
- 8 企業協賛等

第 3 章 式典行事

（詳細については、基本計画、実施計画で策定）

- 1 基本的な考え方
- 2 式典演出
- 3 式典運営

第 4 章 植樹行事

（詳細については、基本計画、実施計画で策定）

- 1 基本的な考え方
- 2 お手植え、お手播き
- 3 記念植樹

第 5 章 会場整備等

（詳細については、基本計画、実施計画で策定）

- 1 基本的な考え方
- 2 会場整備
- 3 交通・宿泊等

第 6 章 記念事業等

（詳細については、基本計画、実施計画で策定）

- 1 基本的な考え方
- 2 記念事業
- 3 関連事業
- 4 広報活動

第 7 章 運営方針等

- 1 基本的な考え方
- 2 実施組織
- 3 開催準備スケジュール

先催県における「開催理念」の記載例

開催年	開催県	開催理念
R4	岩手県	・ 県民総参加による森林づくりと、森林資源の循環利用を推進する。 ・ 森林の恩恵を県内外にアピールし、健全で豊かな森林を次の世代へ引き継ぐ。 ・ 世代を越え県を越え全国の皆さんが参加できる植樹祭にする。 ・ 感謝の気持ちを込めて東日本大震災津波からの復旧・復興の姿を国内外へ発信する。
R3	滋賀県	ふるさと滋賀の地域特性である「森－川－里－湖」のつながりと、いにしえより培われてきた「森林」、「びわ湖」、「人（暮らし）」のかかわりを再確認し、将来を見据えながら森林を守り、活かし、これらの取組を支えることで、碧（あお）く輝くびわ湖と健全で緑豊かな森林を、次の世代、その次の世代へと持続的につないでいく。
R2	島根県	新たな緑の循環を進める決意を全国にアピールする。また、全国植樹祭の開催を通じて、森林や林業の役割を再認識するとともに、県民参加の森林づくりを拡大する契機とする。 併せて、本県の豊かな自然や人々の営みが創り上げてきた文化（古代神話、「出雲大社造営」や「たたら製鉄」における木材利用等）など、島根県の特徴や魅力を全国に発信する。
R元	愛知県	「木材の利用」を山村(やま)と都市(まち)をつなぐ架け橋とし、健全で活力のある「森林(もり)づくり」と「都市(まち)づくり」を進める。
H30	福島県	・ 県民参加の森林（もり）づくり活動を推進する。 ・ 福島県の復興・発展を加速する原動力とする。 ・ 海岸防災林の復旧・再生や放射性物質の影響を受けた森林の再生を目指す。 ・ 県内外の多くの方が参加できるようにする。 ・ 国内外からの支援に対する感謝と復興に向かって強く歩み続ける福島の姿を広く発信する。

岡山県における「開催理念」のキーワード（案）

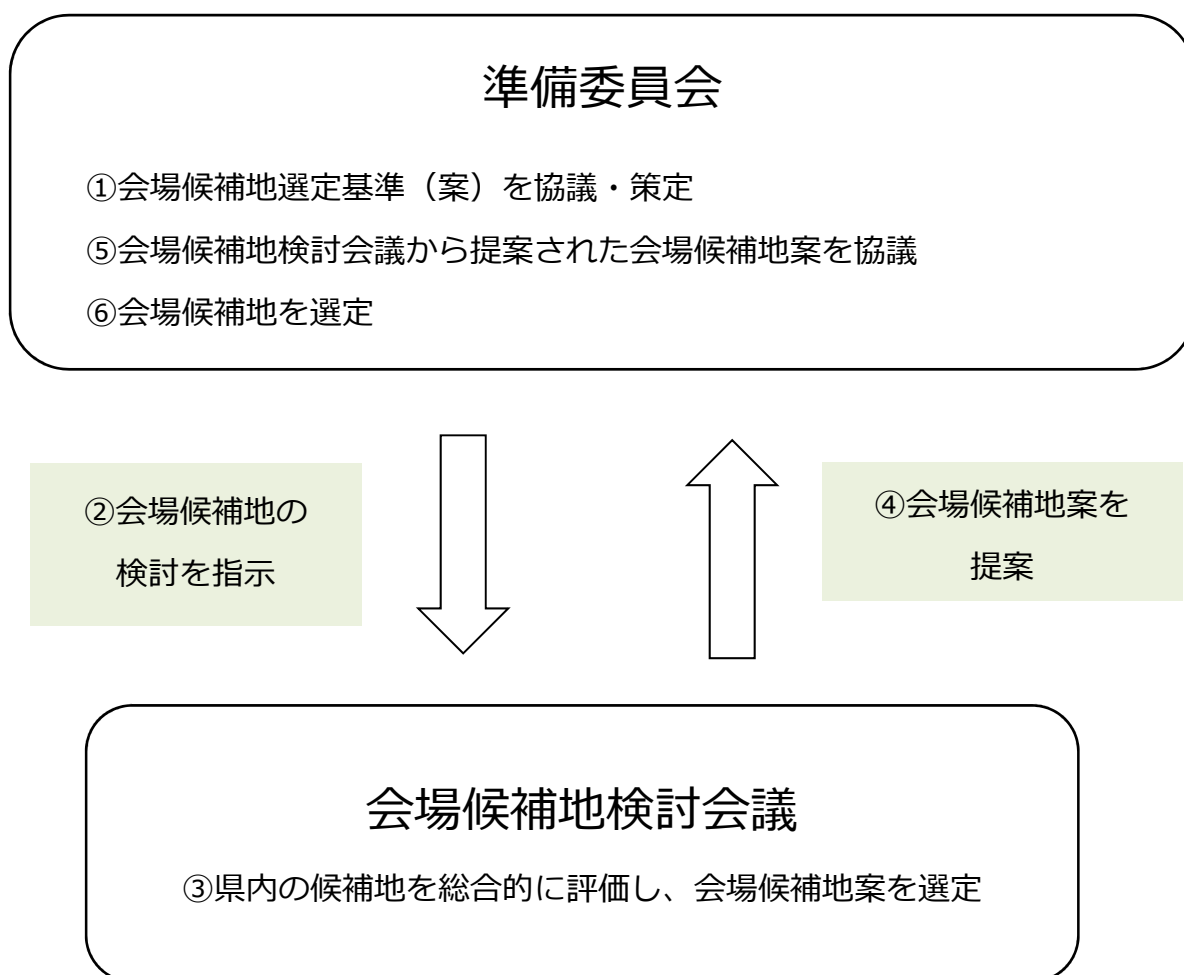
- 豊富な森林資源の循環利用
- 少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替え
- 森の果たす機能
- 収益性の高い林業
- 都市やその近郊の身近な生活環境における緑化の形成促進
- 豊かな自然を守り育てるための県民の活動
- 歴史・文化などの岡山県の数多くの魅力を全国にアピール
- 緑あふれる郷土を輝く未来へつなぐ

第 74 回全国植樹祭会場候補地検討会議の進め方（案）

1 会場候補地検討会議の設置

第 74 回全国植樹祭の会場候補地を選定するため、第 74 回全国植樹祭岡山県準備委員会（以下「準備委員会」という。）設置要綱第 6 条により、会場候補地検討会議（以下「検討会議」という。）を設置し、会場候補地に関して、準備委員会に提案すべき事項に関する業務を行う。

2 会場候補地選定の進め方



第 74 回全国植樹祭 式典会場 候補地の選定基準（案）

（公社）国土緑化推進機構の全国植樹祭等運営要綱、先催県での事例、本県の実情等を踏まえ選定基準を設定。この基準に基づき、該当する候補地を複数抽出後、総合的に評価して準備委員会として式典会場候補地を選定。

1 国土緑化推進機構『全国植樹祭・全国育樹祭運営要綱』〔第 4 条（5）～（8）〕 における会場選定等に係る留意事項

〈第 4 条（1）～（4）略〉

- （5）植樹祭開催県は、機構と協議の上、会場を選定すること。この場合、交通、宿泊、宿泊人員、規模等を考慮し、会場の造成に当たっては、極力現地形の有効利用によって地形の変形は必要最小限に止めるものとし、必要があれば、植樹地の分散、会場と植樹地の分離等についても考慮すること。
- （6）参加人員は、会場の広さ、交通機関の条件等を考慮して定めるものとする。参加者の範囲は、全国植樹祭の目的、性格に適する範囲とすること。
- （7）全国植樹祭の開催に必要な施設の設置については、極力既存の施設の利用を考慮し、新設する場合は、単一目的、短期利用のものは極力避け、多目的、長期利用可能なものを設置するよう配慮すること。
- （8）全国植樹祭の開催に当たっては、全国植樹祭の性格、目的に照らし、質素に行うこととし、経費の節減に努めるものとする。

2 先催県の開催事例（使用した施設・大会規模等）

資料 2 スライド 4「近年の開催状況について」のとおり

3 本県における式典会場の選定基準案

- （1）基本要件
 - ① 開催時（令和 5 年）に確実に利用可能なこと
 - ・ 公有地、公有施設が望ましい
 - ② 既存施設の活用
 - ・ 大規模な用地造成や修景工事等を要しないこと
 - ③ 開催経費の縮減
 - ・ 質素に行うこととし、経費の節減に努める
 - ④ 式典運営が可能な会場面積と適切な移動時間の確保
 - ・ 3～4 千人程度以上の招待者等に対応できる式典会場及びおもてなし広場等を配置可能な面積
 - ・ 想定される招待者等宿泊先やレセプション会場から円滑な移動が可能な地域に確保できること

⑤ 荒天時の会場確保

- ・ 式典会場（晴天時）から比較的近く、少なくとも 2,500 人程度以上の招待者等に対応できる屋内施設

⑥ 会場への接続道路に迂回路があること

- ・ 災害や事故等の緊急事態に備え、想定される通行ルートの外に迂回路が存在すること。また、何れの道路も大型バスの通行が可能であること

（２）その他の条件 ⑦ 想定される招待者等の宿泊先から会場までのアクセス道路の状況が良好なこと

⑧ 会場及び周辺的环境・景観が良好であることが望ましい

⑨ おもてなし広場は、式典会場の隣接地に設定可能であることが望ましい

⑩ 会場となる施設内又は隣接地等に、大型バス乗降所及び駐車場（200 台程度）、式典運営等関係車両の駐車場（50 台程度以上）を配置できることが望ましい

⑪ 会場所在市町村が全国植樹祭の開催に協力的であることが望ましい

第 7 4 回全国植樹祭岡山県準備委員会の進め方について

会 議	主な協議事項
【第 1 回】 令和元年 9 月 5 日	1 全国植樹祭岡山県準備委員会の設置について 2 全国植樹祭の概要について 3 開催までのスケジュールについて 4 基本構想について 5 準備委員会の進め方について
	※ 会場候補地検討会議（2 回程度）
【第 2 回】	基本構想について（素案）
【第 3 回】	基本構想について（案）



第 7 4 回全国植樹祭基本構想（岡山県）
【令和 2 年 3 月策定・公表（予定）】